

受賞作品の講評

【活動部門】



シヌグ堂の会(宮城中学校11期卒業生)

■代表者:大屋 良英

■活動場所:与那城上原「シヌグ堂」周辺

■主な活動内容:清掃・美化活動、桜の植樹・管理等

(講評) 旧宮城中学校第11期生の方により8年前に発足した「シヌグ堂の会」は、月に1度、シヌグ堂周辺で清掃、桜の植樹・管理を行っている。元々は荒れ放題であった場所であるが、それを見かねた根保^{ネホ}清善^{セイゼン}氏が清掃・手入れ等を始め、そこに教え子であった現代表の大屋氏ら教え子が加わり、現在の会となっている。現在はほとんどの会員が島外にて生活しているが、多い月には15名ほど駆けつけて活動を行っており、出身地に対する愛着と会員同士の結束の強さがうかがえる。会の活動によりきれいに保たれた同場所は月見会等の各種イベントが行われるようになり、島嶼地域を盛り上げているという点で、地域への貢献度が非常に高い。また、同場所は標高約100mの高台にあり、県内外から多くの観光客が訪れる、市内有数の景勝地でもある。同会はそこに危険防止柵を設置する等安全面に配慮し、また、水タンクとバケツを置くことにより、訪れた観光客に「命の水」として花や木に水をあげるよう促しているアイディアが非常に面白く、本市の観光面にも多大な貢献をしている。誰にでもお勧めできる場所である。